

PWRC 財団法人 土木研究センター・システム開発研究会

Windows版

切土補強土工法設計システム

GEO - SR2006

■ 概要

日本道路公団「切土補強土工法設計・施工指針（平成14年7月版）」に基づいて切土補強土の設計を行います。

- 無補強時の安定検討（最大必要抑止力の算定および補強時の全体安定検討も同様）
 - ・ 円弧すべり法による安定計算を行います。
 - ・ 直線すべり法による安定計算を行います。
 - ・ 地震時の検討も可能です
- 最大必要抑止力の算定
 - ・ 必要抑止力および崩壊長さの算定を行います。
- 補強材配置
 - ・ 複数ののり面工低減係数が設定可能で、同時に解析できます。
 - ・ 複数の補強材の打設間隔，打設角度，補強材長さを同時に解析できます。
- 補強時の全体安定検討
 - ・ 複数の内的安定検討および外的安定検討が同時に解析可能です。
- 検討結果
 - ・ 図を含んだ報告書スタイルの設計計算書をMS - Wordに出力します。

■ 稼動環境

- OS : Windows98/Me/2000/Xp
- ハードウェア : USBコネクタ，CDドライブ必要
- ソフトウェア : Microsoft Word 2000/2002 導入必要

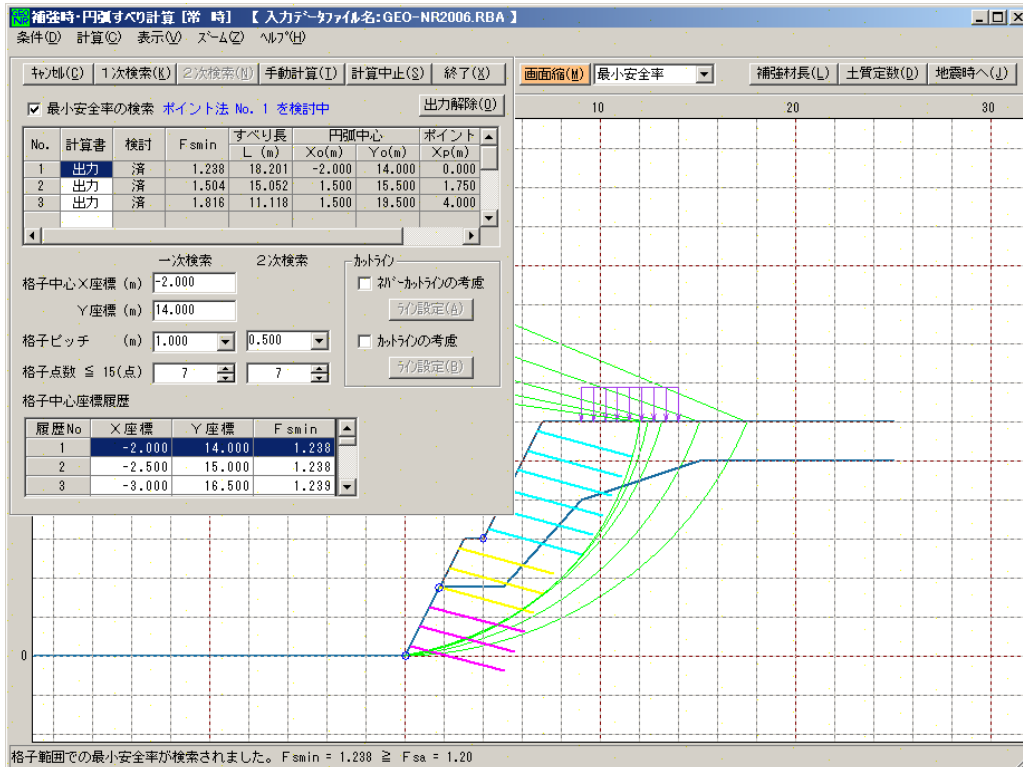
■ 販売価格 : 262,500円（税込み価格表示）

販売元 : PWRC 財団法人 土木研究センター
〒110-0016 東京都台東区台東1丁目6番4号（タカラビル）
TEL 03-3835-3609 FAX 03-3832-7397
<http://www.pwrc.or.jp/>（申込用紙をダウンロードして下さい）

プログラム作成 : システム開発研究会

（お問合せ先） ㈱エフ・ケー開発センター
〒732-0052 広島市東区光町2丁目10番11号
TEL 082-286-5177 FAX 082-286-5179
E-mail ; geo@fkc.co.jp

■ 入力画面およびM s W o r d出力例



5.1.4 補強材の許容補強材力

$$T_{pa} = \min (T_{1pa} , T_{2pa} , T_{sa})$$

ここに、 T_{pa} : 補強材の許容補強材力 (kN/m)

T_{1pa} : 補強材が移動土塊から受ける引抜き抵抗力 (抜け出し抵抗力) (kN/m)

T_{2pa} : 補強材が不動地山から受ける引抜き抵抗力 (引抜き抵抗力) (kN/m)

T_{sa} : 補強材の許容引張り力 (kN/m)

β_i : すべり面と補強材とのなす角度 (°)

位置 No	T_{1pa} (kN/m)	T_{2pa} (kN/m)	T_{sa} (kN/m)	T_{pa} (kN/m)	β_i (°)
1	306.6	0.0	46.8	0.0	89.39
2	306.6	0.0	46.8	0.0	84.95
3	306.6	0.0	46.8	0.0	80.47
4	306.6	0.0	46.8	0.0	75.94
5	306.6	0.0	46.8	0.0	71.31
6	306.4	0.2	46.8	0.2	66.55
7	—	0.0	46.8	0.0	60.42
8	—	0.0	46.8	0.0	55.17
9	—	35.3	46.8	35.3	49.57
10	—	85.2	46.8	46.8	43.45
11	—	151.6	46.8	46.8	36.54
12	—	243.7	46.8	46.8	28.25
				$\Sigma T_{pa} = 175.8$	

■ GEOシリーズ - 設計計算プログラム一覧

システム名	記号名	販売年月日	販売価格
補強土 (テールアルメ) 壁工法設計システム	G E O - R E 2004	H16 年 3 月	262,500
多数アンカー式補強土壁工法設計システム	G E O - M A 2004	H16 年 3 月	262,500
擁壁の支持力計算プログラム	G E O - B C 2004	H16 年 3 月	84,000